

'Is Tokyo a good winter escape?'

(トーキョーの冬はいいよね?)



'Is Ryokan an inn?' ('リョカン'って、'inn'のことだよな?)。年に数回ビジネスで東京を訪れる欧州のお客様から、先日尋ねられた。

'Yes, I'd say, it's a Japanese style inn, with tatami mat and futon...and onsen hot spa! It's more like experiencing full course of Japanese life. Very relaxing. You'll love it'. (日本式の宿泊施設よ。畳のお部屋にお布団を敷いて寝るの。'オンセン'に浸かって体も芯から温まって…。ジャパニーズ・ライフのフルコース。とっても素晴らしいの)。

といっても、At the moment they are too busy to enjoy it. (スーパー・ビジネスな彼らに、今その余裕はない)。Besides, Ryokan is not for solo travelers. それに旅館のシングルユースって、あまり聞かないような気がする。

ビジネスのお客様が選ぶのは駅近ホテル、それも決まったところだ。

'This is just perfect with direct access to Narita Express and Shinkansen Bullet Train, easy dine-out, and with reliable Wi-Fi connection.' (このホテルは成田エクスプレスと新幹線直結、食べる場所も揃っているし、Wi-Fiもあるから本当に便利だね)という具合。

仕事は分刻み、滞在日数も限られている。Efficiency is most appreciated. 効率優先なのだ。

And basically they stay at the same hotel. And, packing suitcases is the last thing they want to do. (もちろん連泊。楽だし、面倒なスーツケースのパッキングも最小限に留められる)。

The first thing they do when they arrive at hotel is purchasing bottles of sparkling mineral water. ホテルに着いてまず向かうのは、成城石井やクイーンズ伊勢丹のようなInternational grocery store。サンペレかゲロルシュタイナー(※1)を買い込む。I do the same, wondering why they taste better in hotel rooms...maybe because of the shut windows and dried air. (私もその習慣が移ってしまった。それにしても、炭酸入りミネラルウォーターは、どう

してこうも、ホテルの乾いた空気と好相性なのだろう)。

そして、「みどりの窓口」で翌朝の'Shinkansen Bullet Train' (新幹線)の切符を手配する。その迅速な動きといったら、'Amazing! You are blending in with Japanese business people!' (日本のビジネスピープルと同化してる!)



あるとき、新幹線の中で聞いてみる。

'I wonder if your family envy you and then ask you, like, 'Why not bringing us to Japan sometime?' (ご家族から、私たちも日本に連れて行って!と言われたりしないの?)

'Umm...' いまいち反応がよくない。

'OK, then, someday, If you have an opportunity, why not bring your family and stay at a Ryokan for several days.' (いつかね、時間が取れる日が来たら、ご家族を連れてきて、'リョカン'に数日泊ってみて)。ここで、車窓に別府みたいな情緒たっぷりの温泉街が現れてくれたら最強なのだけだ。

'It'll be totally different. You are free from work, free from your laptop and iPhone. You can just relax, and soak in a onsen hot spring. It's an authentic relaxation and will be the best winter escape. Are you interested?' ('リョカン'では、全然違う時間を過ごすの。仕事抜き、パソコンもiPhoneも放置。第一、Wi-Fi入らないかも。'オンセン'に

浸かって、心ゆくまでリラックス。寒い冬の最高の過ごし方よ)。

だって、この冬は寒かった。'Minus 25 Centigrades at night. Everything is frozen!' (夜はマイナス25度、外は一面、氷の世界だよ!)なんてメールが欧州から届いたし、東京の冬は'Perfect weather! Blue sky, cloudless, beautiful sunshine!' (青空に太陽、最高の天気!)と羨ましがられた。日照時間も長くて、いいよねと。これで温泉旅館デビューしたら、日本やみつきになるかも。

それまでの間は、Let's make the most out of Japanese hotel rooms. (ホテルで温まっていたら)。And in Japan, hotel bathrooms are highly reputed. (というのも、日本のホテルのお風呂は素晴らしいらしい)。こないだも褒められた。シャワーの勢いがよく、温度調節はパーフェクト、お湯もきれいな。三ツ星レベルでもバスタブ付き、クリーン、Amazing! Incredible!と。

ヨーロッパでは、シャワーブースだけのホテルも多いらしい。'Oh, I can't do without a bathtub...I need to soak in a bathtub everyday, even in summer.' (私は毎日お風呂に浸かないとダメ)と言ったら、意外なほどに驚かされてしまった。'And I add some Kneipp in it, which keeps water warm and makes the whole bathroom so special.' (そして、バスタブにはクナイプ(※2)を入れる。保温機能がないホテルのお風呂もこれですばらく温かい)。と書いている今も、クナイプで足湯真っ最中。ああ、春が待ち遠しい!

※1 サンペレ(サン・ペレグリーノの略)、ゲロルシュタイナー: いずれも炭酸ガス入りのミネラルウォーターで、前者はイタリア産、後者はドイツ産。乾燥したホテルの部屋で冷やして飲むと、なぜか美味しい。

※2 クナイプ: ハーブと天然塩から作られたドイツの入浴剤。バスソルト、泡風呂など種類も豊富。